



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

# THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO

Bulletin  
NO.816

CLUB OFFICE / KYOTO YMCA : Yanaginobanba, Sanjo, Nakagyo-ku, Kyoto 604-8083 Japan

Phone(075)231-4388

http://www.kyotoys.com/

2015, 11

68th

CHARTERED 1947

2015~2016年度 主題

国際会長(IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)

Theme : "Mission with Faith" 主題『信念のあるミッション(使命・目標)』

Slogan : "Count Your Blessing" 標語「恵みを数えよう」

アジア地域会長(AP) Edward K.W. Ong (シンガポール)

Theme "Through Love, Serve" 主題『愛をもって奉仕をしよう』

Slogan "Let it Begin with Me." 標語「まず自分から始めよう」

西日本区理事(RD) 遠藤 通寛(大阪泉北)

主題:『あなたならできる!きっとできる』 "You can do it! Yes you can!"

副題:一生きる しなやかに さわやかに—"Live flexibly and refreshingly"

京都部部長(DG) 高田 敏尚(京都)

主題『いつも喜んでいなさい』 "Be joyful always"

強調月間

Public Relations  
Wellnes の月

会長	合田 太一
副会長	田中 孝明
書記	大田 龍二
会計	相原 隆幸
	西村 博一
	中村 泰之
	小峠 昌徳

## 京都ワイズメンズクラブ 第68代会長 合田 太一

"Reborn" 『生まれ変わる、未来のために』

### 神様の似姿の回復

宇沢弘文著『経済と人間の旅』から



「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。そして海の魚、空の鳥、地の上を這うものすべてを支配させよう。」

今月の聖句（創世記一・二六）

昨年逝去された世界的経済学者の、遺稿集とも言うべき本です。論文だけでなく、新聞に連載された「私の履歴書」も含まれているので、読みやすく、お人柄にも触れるように親しむことが出来ます。

宇沢さんの経済学は、「人間回復」がテーマになっていると言えます。彼が留学から帰ってきたとき、日本では、かつて美しかった東京都心部が自動車と自動車用道路、高層ビルに囲まれていました。また公害によって自然環境や人々の健康に深刻な被害が出ていました。世界では戦争が絶えず、指導者達が、「経済学的に効率よく戦争を進めた」と発言したりしました。宇沢さんは、愕然とし、今までの研究を見直し、経済的効率のみを追求する経済学ではなく、人間の幸せを追求する経済学でなければならないと決意し、研究を進められました。その業績はローマ教皇にまで届き、アドバイスを求められ、そのアドバイスは回勅に活かされました。

宇沢さんの主張の一つが、「社会的共通資本」です。自然環境、社会的インフラ（特に教育と医療が重要）、金融制度を、職業的専門家が、経験豊かな知見と高い倫理性をもって、適正に管理・運営するとい

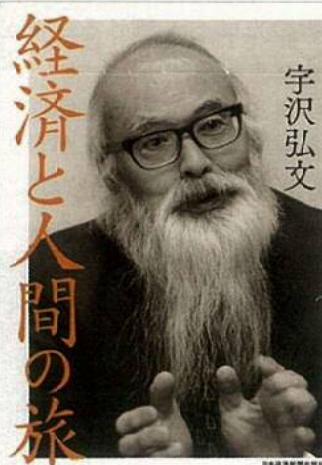
うものです。資本主義と共産主義という二元論ではなく、みんなが幸せに暮らすために考え出された、実現可能な制度だと思います。

お金は私たちの生活に必要なものです。みんな大なり小なりお金を求めています。お金は時に私たちを豊かにし、時に私たちを苦しめます。けれども、お金そのものは、良くも悪くもありません。社会的な道具の一つです。

問題は、お金を用いる人間にあります。人が、お金を、自分を含めたみんなの幸せの為に用いようとするか、自分だけのために独り占めしようとするかで、お金の動き方は全く変わります。

宇沢さんは「人間回復」を唱えられます。そして信仰的に見るときに、人間はすべて、神様の似姿として造られています。お金が間違って使われるときには、人が傷つき、それは同時に、神様への信仰が傷ついていくのです。宇沢さんは、経済学を研究しながら、人間の尊厳というお金を越えた価値観に立っておられました。私たちも、お金

を大切にしつつ、信仰という価値観に立ち、お金を正しく用いたい、またお金が正しく用いられているか関心を持ち続けたいと思います。



10月例会出席者及び出席率 在籍者32名  
例会出席者28名 ゲスト2名 ビジター0名  
メークアップ2名 9月出席率→87.5%  
9月最終出席率 メークアップ後確定→87.9%

ニコニコ  
10月分 20,000円  
累計 48,300円

クラブファンド  
累計 0円

BF現金ポイント  
累計 0pt

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"



10月3日(土)4日(日)

## 第5回 AIDS文化フォーラム in 京都

10月3日土曜日、同志社大学新町キャンパス尋真館でのパネルディスカッション「宗教とAIDS」に参加しました。第2回から聴講していますが毎年参加者が多くなっているように思います。

パネリストはヘルスプロモーション推進センター医師 岩室紳也、日本基督教団牧師 平良愛香、浄土真宗本願寺派淨誓寺僧侶 古川潤哉、HIV/AIDSデスク 伊東和子の皆さんです。

今年はAIDS患者も向き合う「死」がテーマです。岩室医師によると、そもそもAIDS問題は「検査と避妊を確実に実施しましょう」と結論づけてしまえば全て終わってしまうそうです。そうはならない理由がいくつもあり、それらは人の尊厳にまで遡る為に話すことさえ避けられてしまいます。このままでは既に感染した人や同性愛者は切り捨てられると、危惧されています。

パネリストの一人、平良牧師は同性愛者である事をカミングアウトされています。世間からはやはり相当な逆風だそうですが「それはこれから背負う十字架」と牧師でもあるお父様から諭されたそうです。

私たちはこの問題にどう取り組めばいいのでしょうか。壇上の医師や宗教家の苦闘が伺えましたが、奇しくも答えは



会場からの発言にあったように思います。「毎回このフォーラムに出席しています。AIDSに関する制度や学術情報は他でもありますが、真正面からこの様なテーマに取り組むことが必要です」「AIDSの患者さんは心の整理がつかないと訴えられる、なんとか応えられないかと参加しています」少しずつですが社会は動いているように思います。



## 京都市産業観光局農業振興整備課から出前トークを迎えて

10月13日(火)

## 「京野菜と環境」をテーマに10月例会

京都クラブでは、京野菜マルシェの活動を通じて、京都YMCAを中心とした生産者との交流の輪も広がってきており、また、今期は、地域奉仕・環境事業委員会の方針で、京野菜や環境問題を考え、取り組んでいくこととしています。そこで、10月の例会では、京都市産業観光局農業振興整備課の天野和之課長に来ていただき、「京の旬野菜」と題してご講演をいただきました。

最初に、京都の農家の方々が出演されているDVDが放映されて、多くの旬野菜が販売されている京北のウッディー京北や里の駅大原が映し出されました。ある生産者の方は、「買う人の顔(反応)を見ながら売ることができる」と話されていました。

近年、市内各所で朝市が活気づいているのは、新鮮な野菜を手にするができる消費者の喜びと、消費者の反応を感じながら販売することができる生産者の野菜に対する思い入れのためだとわかりました。また、野菜が生産されている田畠の風景を見ながら、まだまだ、京都市内には豊かな自然環境が、残っていることに気づかされました。

天野課長のご講演の中で、京都市民の野菜の年間消費量の約3割が京都市内産の野菜であることを話されており、京都では「地産地消」が定着していることに感心しました。

「京の旬野菜」とは、市内産の野菜について、品目ごとに「旬」を定め、その時期に出荷されている野菜のことです。現在、43品目が指定されているとのことです。生産者認定にも条件があり、京都市が認定し、『旬野菜認証マーク』もあります。旬野菜なので、栄養価が高いのが特徴です。また、環境面でも、京都市内で栽培されているため、輸送に余計なエネルギーをかけず、環境に優しい農業でもあります。

ます。まさに、自然に優しい適季適作です。市では、市内生産の旬野菜を市民の方に供給する体制を整備し、市内京野菜の生産振興を図り、地産地消を推奨しています。

最後の質問タイムでは、「旬野菜を子どもたちに知つもらうために」どんな取り組みを行っているのかと質問があり、市では「小学生に農業の機会を提供し、農と食の重要性を体感してもらうことで、未来の、農業を応援する子どもたちを育成する事業」も行っていると説明をがあり、子どもたちが、きちんと自分自身で農業や食事の大切さを感じることができれば、将来の農業も安心できると思いました。

例会には、京都クラブOBの小谷氏と入会候補ゲストの福井氏が参加していました。今後も、多くの仲間が入会していただけるよう取り組んでいく必要があり、今日の例会はいろんな意味で良い機会となりました。





10月24日(土)

## ジャガイモ・かぼちゃファンド配達大作戦

今年も恒例のジャガイモ・かぼちゃファンド大作戦が、快晴の10月24日(土)早朝から行われました。商品のジャガイモ・かぼちやは十勝クラブよりの直送品です。

午前8時30分、久御山の運送業者様のご厚意で使わせて頂いている配達センター敷地内に、メンバー11名が乗用車・軽トラック・ダンプカー・レンタカートラック2台などにて集結。田中(俊)現場監督の指揮のもとテキパキと積み込み作業を行い各方面へと配達開始。私の担当した高槻方面は、2トントラック2台で約400ケースを配達に。以前は今の倍以上をさばいていたとの事ですが、メンバーの平均年齢も上昇し、年々、販売個数も減少しているとの事で



す。今回の積み下ろしの主役の合田会長は、やはり最年少だけに、かなり頑張って頂きました。

ジャガイモ・かぼちゃファンドの収益金はYMCAの発達障がい児プログラムや、HIV・AIDS関係プログラム、国際協力プログラム他の支援活動等に使われます。その事を理解してお買い上げいただいているお客様、メンバーには感謝です。

おかげさまで、昨年とほぼ同数のジャガイモ1142ケース・かぼちゃ114ケースを各方面に配達完了致しました。最後になりましたが、私の連絡ミスで山野OBには、かなり荷下ろしのお手伝いをさせてしまつて申し訳ありませんでした。皆様お疲れ様でした。

## 今期限定取材

ヒロ爺の  
こんなご存知ですか

## これはすごい！ “Reborn・京都”

今年の会長標語が“Reborn”なので、街を歩いていてもリボーンという言葉が気になって仕方ない。

“洋服のリサイクル” “カバンの修理” “家の建て替え”などはよく見かけるが、“ヨガ教室” “介護用具”それに“老人ホーム”といったものもあった。

そうそう、若者に評判の海外ドラマ“ヒーローズ・リボーン”の最新作は、京都出身の祐真キキの主演抜擢でこの秋に登場予定とか。

そんな中で、スゴイのが新町六角に本拠のあるNGO “Reborn・京都”。日本中からの寄付で集められた着物を、ほどいて着物地にした上で、ベトナム・ラオスなど発展途上国に送る。それらの国には洋裁学校が作られていて、日本から派遣された洋裁の先生がいる。着物地に相応しい洋服のデザインは本部で考えられ、それをもとにリボーンされた新しい洋服が現地女性の手で作られる。そして製品は日本や諸外国の店やバザーなどで売られ、途上国援助の資金になる。

単に要らなくなったモノを渡すのではなくそれを新しいモノに再生する (Reborn) 、その作業を通じて現地の人たちに生きるために技術を身につけさせ途上国の再生 (Reborn) に貢献する。一度クラブ例会でお話しを聞きたくのような素晴らしい働きである。



## 今期限定連載

高田部長のコーナー  
～部長のお部屋～

## ブリテンあれこれ

部長になって、いろんなクラブからブリテンが届きます。例会の様子もよくわかります。ワイズで扱うテーマが「健康」がなんと多くなっているなと思っていましたら「終活」も現れてきました。なんと「柩」が例会場にあつたのです。さらに入柩体験も。この体験を一度した方は長生きされているとか。読んでいてもびっくりしました。(大阪茨木クラブ) シルバーウィークに東山荘に行きました。雄大な富士山をみて心の洗濯をと思ってましたが結果はがっかりでした。その時、富士山がよくみえるはずの礼拝堂で礼拝をしているグループがありました。知らずに入つていったのですが。同盟のステップ研修で75日間も続くそうです。なんかお籠のようですね。その記事とここからみれば、こんなにきれいに富士山が見えるのかという写真がありました(大阪河内クラブ)。これは、いいアイデアだと思うのが、DBC先のクラブから原稿をもらって毎号に掲載していることです。短い便りでもクラブがつながっていると実感させられます(東広島クラブ)。さらに、多くのクラブが記念切手をはって送ってきてくれています。手間はかかりますが、地味なBFへの思いを感じます。



京都クラブのブリテンは、コスト削減のためパソコンで編集し、クラブ所有のレーザープリンターで450部手作りで作製していましたが、最近印刷をネット印刷に変更することによって、さらに大きくコストを下げることに成功しました(年間予算10万円)。このブリテンは京都クラブのホームページ <http://www.kyotoys.com/> では月初にご覧いただけます。このブリテンに関するご質問、ご意見、ご感想などを

Email : tanupon@mbox.kyoto-inet.or.jp ブリテン編集長・三井哲次までお寄せください。お待ちしています。

**1. 国際協力街頭募金**

戦争や紛争の中で飢餓や貧困に苦しめられている人々の救済、  
**NEWS** アジアやアフリカの青年と女性の社会参加と自立、海外での自然災害の被災者救援を目的に、毎年国際協力募金を行なっています。

今年も会員・市民ボランティアの方々が協力して、街頭で国際協力を呼びかける募金活動を行ないます。参加及び募金にご協力ください。

日 時：11月1日(日)午後1時～午後2時30分 (12時三条本館集合)  
場 所：三条河原町、三条大橋、四条河原町、四条烏、など  
市内約1カ所(予定)

お問合せ：京都YMCA国際協力専門委員会

(TEL)075-231-4388/(E-mail)kyoto@ymc妖Japan.org

**2. YMCA祭**

京都YMCA国際福祉専門学校生の日頃の取り組みを発表し、京都YMCAや地域に連なる方々との交流を図ることを目的に毎年実施しています。学生によるステージイベント、模擬店や物品販売を実施し、収益は国際協力募金等に充てさせて頂いております。楽しく気軽に参加できるよう準備を進めています。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：11月3日(祝)午前10時～午後3時

場 所：京都YMCA国際福祉専門学校

**3. パネルディスカッション「アジアの若者が語る夢と出会い」**

グローバル化が進むこの社会の中で、今、夢を持って海を渡る若者は何と格闘し、どんな出会いがあるのでしょうか。パネルディスカッションで、アジアの若者達がそれぞれ思いを語ります。そんな彼らの思いに耳を傾け、国や世代を超えて、あなたも発言してみませんか？

お申込み不要、どなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。

日 時：11月13日(金)午後7時～9時

場 所：京都YMCA地階マナホール

参加費：無料(申込不要)／ 定員：50名

お問合せ：京都YMCA(TEL)075-231-4388

**4. 舞鶴YMCA国際協力街頭募金、YMCA祭**

舞鶴YMCA国際福祉専門学校でも国際協力街頭募金とYMCA祭を行ないます。どちらも舞鶴で初めての行事です。YMCA祭では、地元の方との交流の機会として、寄席や占いブース、模擬店など楽しい催しを用意しております。ぜひお越しください。

日 時：11月15日(祝)

国際協力街頭募金：午後12時30分～／YMCA祭：午後1時～4時

場 所：舞鶴YMCA国際福祉専門学校

内 容：YMCA寄席(森乃福郎さん他)：午後1時30分～

他にも、高島秀周先生の占いブースや専門学校生、福祉施設、ワイズメンズクラブの模擬店、イベントコーナーもあります。

**5. YMCA・YWCA世界合同祈祷週集会**

世界のYMCAとYWCAでは、毎年11月に「世界YMCA/YWCA合同祈祷週」として世界の抱える様々な問題について共に祈る週としています。今年のテーマは「希望あれ」です。

京都YMCAと京都YWCAは、京都YWCAも取り組んでいる児童養護施設退所後の若者の自立支援の問題をテーマに、パネルディスカッション方式で児童養護の現状と課題、若者の自立支援の方法を考えていきます。

日 時：11月21日(土)午後6時30分～

場 所：京都YMCA地階マナホール

参加費：(一般)500円／(学生)300円 軽食付き

お申込み・お問合せ：京都YMCA

(TEL)075-231-4388/(E-mail)kyoto@ymc妖Japan.org

**6. オータムフェスタ**

毎年行われる秋のイベントです。自然豊かなリトリートセンターで、紅葉と秋の味覚を楽しみましょう。ご家族、お友達とぜひご参加ください。

日 時：11月22日(日) 午前11時～午後3時(受付：午前10時30分)

場 所：京都YMCAリトリートセンター

参加費：(大人(中学生以上))2,000円／(小学生)1,000円

※京都駅、JR宇治駅、京阪宇治駅より無料送迎バスあり。

(要事前申込(11月19日(木)締切))

お申込み・お問合せ：京都YMCAリトリートセンター事務局

(TEL)075-231-4388(当日のみ)0774-24-3838

(E-mail)ritcen@ymc妖Japan.org

**7. スキーキャンプ・ウインタープログラム 募集が始まります。**

\*スキーキャンプ

(会友)電話受付 11月 4日(水)午前10時～

(一般)Web受付 11月 5日(木)

(一般)電話受付 11月11日(水)午前10時～

お問合せ：京都YMCAアウトドア事務局(TEL)075-231-4388

\*ウインタープログラム

(会友)電話受付 11月 4日(水)午前10時～

(一般)Web受付 11月 5日(木)～ 9日(月)

(一般)電話受付 11月11日(水)午前10時～

お問合せ：京都YMCAウェルネスセンター(TEL)075-255-4709

**案 内 板****(11月の予定)**

1日(日)国際協力街頭募金	12:30～三条Y
1日(日)京都部部会(例会振り替え)	15:00～京都ホテルオークラ
3日(祝)YMCA祭ワイズデーマルシェ	10:00～三条Y
4日(水)役員会	19:30～三条Y
13日(金)社会セミナー「国際理解プロ」	19:00～三条Y
17日(火)第二例会	19:00～三条
21日(日)YMCA・YWCA合同プロ	19:00～京都YWCA
22日(日)リセン・オータムフェスタ	9:30～リトリートセンター
29日(日)三条本館電飾飾り付けワーク	10:00～三条Y

**(12月の予定)**

1日(火)役員会	19:30～三条Y
6日(日)「朝採り野菜マルシェ」	10:00～三条Y
6日(日)「いのちの電話」チャリティーサー	13:00～同志社女子大栄光館
8日(火)EMC担当例会	19:00～ホテル日航プリンセス京都
14日(月)ピーコサート(京都クラ'担当)	18:30～三条Y
14日(月)クラブ忘年会	ユサート終了後「しんしん」
18日(金)会員クリスマス・キャロリング	詳細不明 三条Y
26日(土)三条本館電飾撤去ワーク	13:00～三条Y
26日(土)1月分の役員会	ワーク終了後～ 三条Y

**役員会報告**

2015-2016年度 9月 役員会

9月1日(火)19:30～於 三条YMCA

出席役員：14名 欠席役員：6名

**<議案>**

1. 小峰ワイズの退会について 本人の届け出通り9月末退会。承認 (会計については副会長2名が補佐、EMC委員会の担当三役は大田副会長が代行)
2. 11/17(火)に第二例会を行うことについて。承認 「京都部部会の評価会」を三条YMCAで行い、その後「打上げ」に移動
3. 1月役員会の日程変更(1月5日(火)→12月26日(土))。承認 (クリスマス電飾撤去ワーク後に行う)
4. 高田部長、高井ワイズのびわこ部部会出席補助金を規定どおり登録費の半額2500円×2名=5000円を支出。承認

**<会長・三役会報告事項>**

- ①第2回京都部評議会に出席し、今期予算案及び前期の決算を承認した。
- ②西日本区ネット主任からの「わかめ販売協力依頼」は10月例会で注文書配布予定。
- ③舞鶴ワイズメンズクラブ設立準備委員会(10/5)へは合田会長が出席。委員会で舞鶴ワイズメンズクラブは京都部がスポンサークラブとなり、2016年西日本区大会でのチャーターナイトを目指すとの話があり各クラブに対し協力依頼があった。
- ④YMCAの茨城水害支援募金依頼に対して10月例会で募金箱を検討。
- ⑤次々期会長選考委員会が発足した。  
(座長 杉本Ys、委員 佐々木Ys、多田Ys、合田Ys、神崎連絡主事)
- ⑥DBCからの京都部部会出席者は(十勝クラブ3名 三島クラブ6名)

<各事業委員長報告>一次回委員会日程は別紙日程表に記載—

Yサ・ユース：クリスマス電飾付けるは11/29、電飾撤去は12/26に行う。:

地域奉仕・環境：9月の京野菜マルシェは中止になった。11/3YMCA学園祭ではYMCAからの要請もありワイズデーとしてマルシェを行

ドライバー：10月例会は京都市環境局農業振興整備課より講師を招き「旬の京野菜を食す」で講演。

EMC：9月のEMC例会は4名のゲストの出席があり、また次回に向けての案内も行った。11月の第2例会はドライバー委員会と協力し企画する。12月例会はゲストへの案内を徹底したい。

交 流：欠席(代理報告なし)

広 報：8月、9月例会の写真をホームページにUPした。今月号のブリテンからPDFでUPしたのでホームページから鮮明な印刷が可能となった。11/3のYMCA学園祭には依頼を受けて例年通りライブ中継をする。

ファン：9月のうなぎと鰯のセットは7セット、フルーツセットは5セット販売できた。ジャガイモファンは昨年並みの注文をいただいた。10/24の配達予定については次回の委員会にて検討する。

ブリテン：10月号が完成し役員会、例会で配布。発送は10月8日に行う。

文献保存：特になし。

京都部：部会準備をよろしく。

\* 次回の役員会：11月4日(水)19:30～21:00 三条YMCA